

まずは、今、卒業証書を手にした、二十四名の卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

社会中がコロナウイルス対策で、様々な大会や行事が中止や簡素化されている中、令和二年度、中央小学校卒業式を挙行できますこと、校長として本当にうれしく思います。いつもの年とは少し違った卒業式ですが、最上級生として本校を支えてきた卒業生への感謝の気持ち、そして心から祝福する気持ちは、変わりません。今の状況の中で、できる限り、子どもたち、そして保護者の方々の心に残る卒業式にしたいと考え、計画を立て、今日を迎えました。

さて、卒業生の皆さん。皆さんは、最上級生として登校一日で臨時休業になるという今までにない少し辛いスタートを切りました。そして、町の陸上大会や、わくわくまつりは中止、運動会は半日、校外学習も減らされ、修学旅行も方面を仙台・松島にかえて十一月に実施、本来であればみなさんが活躍し、輝ける場や機会がもっともっとたくさんあったはずです。そして、もっとも成長できたのではないかと考えてしまいます。でもみなさんは、こんな我慢をしながらの学校生活の中でも、前を向き様々なことに取り組み、校長として期待している以上に成長してきたと感じています。そんな皆さんに、今、校長として、卒業証書を一人一人手渡すことができ、本当に幸せを感じています。

皆さんの出会いは、四年生の春でした。○○先生が担任でしたが、最初は落ち着いておとなしいクラスだと感じましたが、四年生が終わる頃には、明るさも出て、とてもよいクラスに成長しと感じていました。

五年生の時は、○○先生と○○先生が担任でした。○○先生から大きな声を出され気合いを入れられることもありました。が、学校を支える六年生をよくサポートしていたと感じていました。

そしてコロナ禍の中、六年生担任が初めてで、やる気満々の佐藤先生とベテランの滝原先生が担任でスタートした六年生、みなさんの思い出はたくさんあります。臨時休業明け町内で一番最初にドキドキしながら、無言で行った「なす風土記の丘」への校外学習、半日になってしまった運動会で見せた、最上級生として

のリーダーシップ、そして最後まで行けるのか不安だった、修学旅行に無事行けたこと。どの場面でも、四年生の時から見ているみなさんの成長を強く感じられ、とてもうれしかったのを覚えています。

そして今年一年は、なかよし班活動や清掃活動、国旗当番、掃除のない日には、朝からいろいろな場所を、自主的に掃除するなど、皆さんの日々の活動が、中央小学校の日常を支えていました。そんな皆さんの姿を見ていた下級生は、あこがれをもったでしょう。そして、自分が六年生になったら、同じようにがんばろと思ったはずです。それが中央小学校の伝統になり、受け継がれていきます。

皆さんと若い〇〇先生が、学校を支えていく中で、いろいろな経験を積み、日々成長し、たくましくなっていく様子が、よくわかりました。

さて、今日は、卒業する皆さんに、最後のお願いを一つしたいと思います。それは「本当の自分を、素直に表現しよう」です。

みなさんは一人一人を見ると、とてもいい考えや熱い思いを持っていきます。しかし、それを周りに気をつかいます。周りの目が気になり、素直に表現するのがあまり得意ではないように感じていました。中学校へ進学したら、新しい環境、新しいクラス、新しい友だち、全てが変わります。その場では、ぜひ本当の自分を、素直に表現してください。それが、みなさんのこれからの幸せにつながると思います。

保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、誠におめでたうございます。私共教職員は、お子様の成長の一助になれるよう、日々努めてまいりました。至らない点多々あったことと思います。それにも関わらず、本校教育に、深い御理解と、温かい御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

では、名残は尽きませんが、卒業生の前途が洋々たることを祈りつつ、式辞といたします。

令和三年三月十九日

高根沢町立中央小学校長